

TSURUOKA ROTARY CLUB

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

平成 19 年 7 月 31 日 (火) 第 2373 回 (本年度第 5 回) 例会

●創立 昭和34年 6 月 9 日 ●例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) ●例会場 東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町2-10



ROTARY SHARES
ロータリーは分かちあいの心



例会に出席し
友情を深めよう

本日の卓話

大友ガバナー公式訪問

7 月 24 日 (第 2372 回) 例会報告

点 鐘

ロータリーソング「四つのテスト」

卓 話：本年度の活動計画

①ロータリー財団委員会 委員長 富田喜美子君

②職業奉仕委員会 委員長 加藤 賢君

ゲスト・ビジター：なし

会長報告

今週と来週の行事

- 1) 7/19 (木) この 2800 地区第 2 ブロックを公式訪問中の大友ガバナー歓迎の会が当ホテルで催され、真島、本間昭吉幹事のほか藤川享胤、嶺岸禮三、佐藤孝子、阿部淳次、本間喜美子、阿蘇司朗の諸氏が参加しました。
- 2) 同日同ホテルの別の間で鶴岡ローターアクトの年次総会が開かれていて、この会合に出席していた当クラブのクラブ奉仕プロジェクト委員会のメンバー (上記) とローターアクトの諸氏が、大友ガバナーの歓迎会に加わりました。
- 3) 7/20 (金) ガバナーの鶴岡市長表敬訪問があり、私と本間幹事は他クラブの会長幹事と一緒に随行し、富塚市長への名誉会長委嘱のお願いもして参りました。
- 4) 7/20 (土) 職業奉仕セミナー (第 1-3 ブロック) がグラウンドエルサンで開かれ、本間昭吉、本間喜美子、桜井隆、青柳孝治、北川米三、檜野隆博、田中豊、吉野隆一の諸氏が参加しました。
- 5) 大友ガバナーの公式訪問日の 7/31 に第一回クラブ協議会が行われます。ガバナーが同席するので午前 10 時ですが、大勢の皆さんの参加をお願いします。

次回の卓話

「電気についてのご質問あれこれ」

東北電力株式会社鶴岡営業所長 桜井 隆君

先週の月曜日 (7/16 海の日) 午前 10 時 13 分にマグニチュード 6.8 と云われる中越地震が発生し、柏崎を中心として大きな被害をもたらしています。我が庄内地方への影響は軽微で、私にとってはいつもより一寸大きな揺れを感じたという程度でした。ところが、昭和 39 年 6 月 16 日のマグニチュード 7.5 の新潟地震は我が庄内地方に新潟県に次ぐ被害が生じました。私はこの時東京新宿の学会会場の大会場にいました。一瞬会場が大きくぐらりと揺らいで、それに続く小型の揺れがしばらく続きました。当時千葉に住んでおり、時々経験していた小地震ぐらいという感じでしたが、間もなく会場に流れた新潟に地震発生 of ニュースを見て、現地ではかなりの大きさと感じました。一方我が鶴岡ロータリークラブは、おりしも例会の最中にありました。発生時間が午後 1 時 2 分頃ですから、会長報告か、張先生の (海外旅行から帰ってという) スピーチの途中にあったと推察されます。この地震で山形県全体では 9 名、当時の鶴岡市では 5 名の方が亡くなりました。最も被害の大きかったのは大山川にそった地区で、この地区にある栄幼稚園では建物が倒壊し、時間的には下校途上であった園児や先生がその下敷きとなり必死の救出作業で救い出された方も多かったのですが、園児 3 名の死亡者を出しています。庄内には、このほか明治 27 年 10 月 22 日に発生したマグニチュード 7 といわれる庄内地震が庄内平野北部を直撃し、死者 739 名、負傷者 8,403 名を出しています。

このような大型災害に対して、鶴岡市や山形県としては総合的な対策は出来ておられるようですが、実際に発生すれば組織は分断され、予想を超えた変

会 長 真 島 吉 也
副会長 富 樫 松 夫
幹 事 本 間 昭 吉

会報委員会
事 務 局

青柳孝治 佐々木喆彦 白幡憲一郎
鶴岡市馬場町11-63 産業会館 3 階
TEL:0235-28-3375 FAX:0235-28-3776

負傷者や病人の発生した場合の対策として、医師会では災害時の医院間の連絡網があって、私の施設にもこれが張ってあります。荘内病院を中心とする対策は考えられてはいますが、まだ具体化はしていないようです。新しい荘内病院の地下で病院全体を支える柱が巨大な弾性体の上に乗っている耐震構造を拝見したことがあります。いざ地震となれば、この弾性体が揺れを吸収し、建物を被害から守る構造となっています。出来うればこのような装置の効果確認にいたる事態などに遭遇したくないですが、少なくともしっかりした医療が確保できるものとして評価しております。

吉野 隆一君 若生 恒吉君 北川 米三君